



# 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東名

(氏名) 富安 徳久  
 (氏名) 辻 耕平  
 配当支払開始予定日  
 TEL 052-918-8254  
 平成29年6月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	5,897	6.8	861	16.3	851	16.4	559	19.6
28年9月期第2四半期	5,520	5.3	741	0.6	731	4.3	468	9.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	27.76	—
28年9月期第2四半期	23.21	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
29年9月期第2四半期	11,179		6,060		54.2
28年9月期	10,069		5,561		55.2

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 6,060百万円 28年9月期 5,561百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年9月期	—	4.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,420	7.8	1,175	7.3	1,150	7.2	765	7.4	37.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期2Q	20,167,200 株	28年9月期	20,167,200 株
29年9月期2Q	1,470 株	28年9月期	1,470 株
29年9月期2Q	20,165,730 株	28年9月期2Q	20,165,730 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移したのに加え、輸出や設備投資の増加等により、緩やかな回復基調となりました。また、政府の大規模な経済対策に伴う国内需要の増加等により、今後も回復傾向は持続するものと見られておりますが、米国経済の動向と国際市場に及ぼす影響等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第2四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。会館の状況につきましては、岐阜県下に「ティア大垣東」をフランチャイズで開設し、これにより直営47店舗、フランチャイズ40店舗の合計87店舗となりました。既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化への対応及び本社機能を拡張するために「ティア黒川」の改修工事を実施いたしました。売上原価におきましては、フランチャイズ向け物品販売が減少したのに加え、取扱商品の見直しや葬儀付帯業務の内製化を推進いたしました。また、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や積極的な販売促進の実施に加え、「ティア黒川」改修工事に伴う修繕費等が増加いたしました。

この結果、売上高は58億97百万円(前年同期比6.8%増)となり、売上原価率は前年同期と比べ1.0ポイント低下し、販管費は前年同期比6.0%増となりました。これにより、営業利益は8億61百万円(同16.3%増)、経常利益では8億51百万円(同16.4%増)、四半期純利益は5億59百万円(同19.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当第2四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店が堅調に推移したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、葬儀件数は前年同期比7.3%増加の4,769件と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、祭壇単価は低下したものの付加価値を高めた商品提案により供花や料理の単価が上昇し、前年同期比0.5%増となりました。この結果、売上高は57億30百万円(同7.9%増)、営業利益は12億52百万円(同13.3%増)となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当第2四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ2店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が増加したものの、前年同期に計上した会館開設に伴う物品売上が減少いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、この結果、売上高は1億67百万円(同20.1%減)、営業利益は42百万円(同30.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は28億43百万円となり、前事業年度末に比べ9億円増加いたしました。これは主に現金及び預金が8億80百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は83億36百万円となり、前事業年度末に比べ2億10百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億43百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、111億79百万円となり、前事業年度末に比べ11億10百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は23億21百万円となり、前事業年度末に比べ1億43百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が1億28百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は27億97百万円となり、前事業年度末に比べ4億67百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が4億76百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、51億19百万円となり、前事業年度末に比べ6億10百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は60億60百万円となり、前事業年度末に比べ4億99百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益5億59百万円及び剰余金の配当60百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月7日に公表いたしました、「業績予想」「配当予想」に変更はございません。業績予想の前提条件としましては、葬祭事業におきましては、既存会館が堅調に推移する見通しなのに加え、新店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では商品原価率の低減を推進する一方で、知名度の浸透を図る販売促進を積極的に行うと共に、中長期の出店を見据えた人材確保と人事制度の充実を推進してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,442	2,322
売掛金	217	264
商品	45	47
その他	245	215
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	1,943	2,843
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,524	4,567
土地	1,291	1,415
その他(純額)	833	910
有形固定資産合計	6,649	6,893
無形固定資産	190	171
投資その他の資産		
差入保証金	1,001	985
その他	284	285
投資その他の資産合計	1,285	1,271
固定資産合計	8,125	8,336
資産合計	10,069	11,179
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	309	346
短期借入金	120	113
1年内返済予定の長期借入金	884	909
未払法人税等	170	298
賞与引当金	112	116
その他	581	537
流動負債合計	2,178	2,321
固定負債		
長期借入金	1,672	2,148
資産除去債務	303	306
その他	353	342
固定負債合計	2,330	2,797
負債合計	4,508	5,119

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,159	1,159
資本剰余金	793	793
利益剰余金	3,608	4,107
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,561	6,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	5,561	6,060
負債純資産合計	10,069	11,179

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	5,520	5,897
売上原価	3,371	3,543
売上総利益	2,148	2,354
販売費及び一般管理費	1,407	1,492
営業利益	741	861
営業外収益		
受取利息	3	2
受取保険金	8	—
広告料収入	3	6
その他	3	4
営業外収益合計	17	13
営業外費用		
支払利息	26	22
その他	0	1
営業外費用合計	27	23
経常利益	731	851
特別損失		
固定資産除売却損	0	29
特別損失合計	0	29
税引前四半期純利益	731	822
法人税、住民税及び事業税	242	264
法人税等調整額	20	△2
法人税等合計	263	262
四半期純利益	468	559



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	731	822
減価償却費	242	248
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	4
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	26	22
売上債権の増減額(△は増加)	△60	△46
たな卸資産の増減額(△は増加)	△0	△6
仕入債務の増減額(△は減少)	63	36
その他	△85	49
小計	915	1,126
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△25	△22
法人税等の支払額	△201	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	688	955
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△240	△496
無形固定資産の取得による支出	△36	△2
差入保証金の差入による支出	△33	△12
差入保証金の回収による収入	30	30
その他	△0	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281	△499
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	370	440
短期借入金の返済による支出	△363	△446
長期借入れによる収入	400	1,004
長期借入金の返済による支出	△625	△503
リース債務の返済による支出	△9	△10
配当金の支払額	△60	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288	423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	117	880
現金及び現金同等物の期首残高	1,812	1,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,930	2,322

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,311	208	5,520	—	5,520
計	5,311	208	5,520	—	5,520
セグメント利益	1,105	32	1,138	△397	741

(注)1. セグメント利益の調整額△397百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,730	167	5,897	—	5,897
計	5,730	167	5,897	—	5,897
セグメント利益	1,252	42	1,295	△433	861

(注)1. セグメント利益の調整額△433百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。